

# 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



流山市議会議員

討議資料

市内外の皆様にも親しまれている利根運河一帯。今年は通水してから125年目となります。春には桜並木で目を楽しませてくれますが、秋には東京理科大の学生が手掛けるイベント「運河シアターナイト」によって新たな一面も覗かせてくれています。当市の新たな観光資源になりそうです！

## 森りようじリポート。(77号)

H27.11月号(駅・街頭用)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

### ■提言が動く！(新体育館に命名権を導入)

平成28年4月オープンの新総合体育館に関して『命名権(ネーミングライツ)の企業が決定』との新聞報道がなされました。これは民間の資金やアイデアを活用しながら“元気な街をつくろう！”との思いから平成26年第4回定例会で質問(提言)した内容であり、無事に成果



に繋げることができました。世界的な企業の社名を配した『Kikkoman Arena(キッコマンアリーナ)』となることにより施設の知名度が高まるだけでなく、年間1,200万円(5年契約)の広告収入も生まれてきます。官と民がそれぞれの特性と強みを生かし、協力しながら進める街づくりは、今後更に進みそうです。

### ■委員会が動く！(総務委員会の視察)

市議会にある4つの常任委員会の内、私は総務委員会に所属しています。10月には当該委員会で二つの市を視察してきました。先進市を調査研究し、当市にも生かすことで流山市政は更に進化を遂げていきます。

#### ①和歌山市…個人情報通知制度について

マイナンバー制度が始まろうとする今、個人情報保護に関する対応は最重要課題の一つとなっています。

#### ②富田林市…市税徴収率向上策について

徴収率の向上に向け、更なる取組みを目指します！

### ■ご案内:次の駅活動は平成28年1月です

○1976年6月12日流山生まれ(39歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

## 平成 26 年度決算を認定！

4 日間に渡る決算審査を経て、平成 26 年度の決算議案を認定する立場をとりました。認定するにあたっての 5 つのポイントを解説します。

### 決算審査のポイント①

【評価すべき点-1】

#### ★実質収支が黒字決算であったことを評価！

実質収支とは、決算において歳入歳出差引額から、繰越事業に伴って繰り越すべき財源を除いた決算額のことを言います。26 年度は出ていくお金（歳出）よりも入ってくるお金が多かった（歳入）ことにより、前年度に続き黒字となりました。財政のバランスは大切です。一方で行政サービスはコスト意識が強すぎるとサービスの低下を招く恐れもあります。そのようなことから一般的に 3~5% の黒字幅が理想と言われています。（平成 26 年度もこの範囲に該当）

### 決算審査のポイント②

【評価すべき点-2】

#### ★財調の取り崩しをしなかったことを評価！

「財調」とは財政調整積立金のこと。これは景気の悪化などにより財源が不足する場合や、大規模な建設事業、災害時の財源として活用するために積み立てています。経済のグローバル化に伴い地方財政も直に影響を受けることが多くなり、財源不足に陥るリスクは格段に高まっています。そのため財調の存在は日増しに大きくなっています。26 年度は取り崩すことなく、僅かな金額ですが更に積み増しをしたことは評価すべき点と言えます。

### 決算審査のポイント③

【留意すべき点-1】

★地方交付税、国庫支出金などの依存財源が大きく減額しており、平成 27 年度以降は国の動向を十分に注視し、事業を進められたい。

歳入には流山市が自主的に確保できる『自主財源』と、国や県の政策に基づいて配分される『依存財源』の 2 種類があります。

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

例えば近隣市に先がけて実施をした小中学校へのエアコン設置を行う際には、国からの補助金をあてにしてきました。26 年度事業（中学校分）は補助金が付きましたが、27 年度事業（小学校分）はエアコン整備に対する補助金はゼロでした…。これにより設置費は 100% 市の負担になります。

国も財政が厳しい状態であることに変わりはなく、今後も国・県に過度な期待をすべきではないというのが持論です。

### 決算審査のポイント④

【留意すべき点-2】

★平成 26 年度の大型公共事業である市民総合体育館建替え事業一つをみても、労務単価は 1 年で 18.8% 上昇、資材は 5~10% の高騰があったとの答弁であった。結果として 1 事業における総事業費は当初予算と比較しても大きく膨れ上がる事例が散見される。新年度の予算編成にあたっては、その点を十分に踏まえた予算編成に努められたい。

政府の積極的な金融政策による影響が地方にも及んでいます。政策の是非論は脇に置いておきますが、大胆な金融政策に伴う労務単価の上昇や円安による資材の高騰は著しく、公共事業の予算が肥大化傾向です。今後も大きな公共事業が控えており、この点はリスク要因の一つとして留意をしていく必要があります。

### 決算審査のポイント⑤

【留意すべき点-3】

★当市でも法人市民税は伸びてはいるが、現状は大企業がけん引している状態。市内企業全体の経営状況で言えば黒字企業 34.3% に対し赤字企業 65.7%。流山市内で大きな割合を占める中小・零細企業の現場の実態をしっかり把握するよう努められたい。

上記の数字を見てお感じになられるように地域経済の実態は厳しい状況のままです。我々議会も今まで以上に留意していきます。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp